

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（18）」

2. 日時：令和5年6月7日（水） 13時30分～15時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審
査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、田島主任技術研究
調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他8名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

＜＜本年6月5日に受取済み＞＞

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震
動評価における模擬地震波の作成及び基準地震動の策定について
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震
動評価における地下構造モデルの設定について

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	まーす。
00:00:04	はい。規制庁地震津波の鈴木でそれでは時間になりましたのでこれから玄海ですかね、のヒアリングを始めたいと思います。
00:00:13	資料としては2. で模擬地震家の作成及び基準地震動の作成。
00:00:20	PTC029 と。
00:00:23	あとは地下構造ですかね、PT030、これをそれぞれ6月2日で資料提出ありましたのでこれについての確認をしていきます。
00:00:33	ではまず、模擬地震が基準地震動ですね、こちらについて、九州電力の方から説明をお願いします。
00:00:45	九州電力の盛でございます。本日はよろしく願いいたします。
00:00:48	それでは、TT0229の資料を用いて模擬地震はの方をさ。
00:00:54	資料ご説明した、いたします。
00:00:57	まず資料を開いていただきまして、3ページからは、
00:01:01	なりますが、こちらコメントリストになりますが、
00:01:04	No.4 南方、それからAとS4のコメントにつきまして、今回T029にてご説明いたします。
00:01:12	それから、
00:01:14	No.1045につきましては、この後のTT030にてご説明いたします。
00:01:22	6ページ目をお願いいたします。
00:01:26	6ページ目の審査スケジュールにつきましては、先日のヒアリングを踏まえまして、模擬地震は、
00:01:32	Ssの策定、それから地下構造モデルの取りまとめの資料も、
00:01:36	修正させていただきましたので、その分若干審査会合をずらしております。
00:01:41	それ以降のスケジュールにつきましては、変更はございません。
00:01:46	はい。
00:01:47	7ページ目からは、目次はの作成結果になりますが、
00:01:51	こちらにつきましては、
00:01:54	前回のヒアリングから変更はございません。すみませんちょっと説明前後しましたか。前回ヒアリングからの主な変更点について、
00:02:02	ところ以降模擬地震はの策定についてご説明をいたします。
00:02:08	8ページ目は模擬地震作成方針ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:12	審査ガイドに基づきまして檀水槽を用いた模擬地震は観測位相を用いた模擬地震はを比較して、
00:02:18	僕自身はを選定する方針を示しておりますが、こちらは、前回ヒアリングから変更はございません。
00:02:25	9 ページ目、
00:02:26	をお願いいたします。
00:02:29	9 ページ目は、設置許可基準規則の解釈、
00:02:32	に記載されました標準応答スペクトルに適合するように、模擬地震はを作成する旨がわかりますように記載を、主修正してございます。
00:02:41	また標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルも追記しまして、地震基盤相当面を図示してございます。
00:02:53	次に、10 ページからは、
00:02:57	茂木坂水槽の効いた模擬地震はの具体的な説明となっております、
00:03:03	11 ページ 12 ページにその作成結果を、
00:03:06	説明してございます。
00:03:08	夏井宗も聞いた目標の作成方針作成結果につきましては、前回の承認から変更はございません。
00:03:17	13 ページ目からは、観測位相を用いた模擬地震はの作成についてご説明しています。
00:03:23	13 ページにつきましては変更はございません。
00:03:28	14 ページは、観測位相を用いた模擬地震版の作成のための、
00:03:33	地震観測の条件選定フローを示してございます。
00:03:37	こちらのページでは、玄海の観測位相を用いた模擬地震はの作成において等と言いますと、
00:03:43	選定フローを青線で追加してございます。
00:03:47	また、収集しました乾燥記録の選定に当たり、
00:03:51	震源近傍の内陸地殻内地震の特性等、初動の継続時間を考慮する。
00:03:56	考慮しまして選定する方針としてございますが、
00:03:59	三つの条件は選定にあたり並列で考慮していますので、
00:04:03	そこの辺り誤解のないように記載を適正化してございます。
00:04:08	15 ページは記録の選定結果になりますがこちら、
00:04:13	は変更ございません。
00:04:16	16 ページ 17 ページは、さらに衛藤。
00:04:20	観測位相を用いた、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:24	模擬地震作成のための地震の選定結果になりますが、
00:04:27	こちらのページにつきましては、主要動の継続時間につきまして、
00:04:32	主要動の継続時間や、主要動の長さということが混在してございましたので、初動の継続時間という言葉に統一してございます。
00:04:42	また乾燥記録の選定に当たりまして、初動の継続時間としましては、
00:04:46	当社として時刻歴は県の最大加速度の 0.5 倍以上の継続時間として評価したものでございますので、その記載を、米印で明確化して記載してございます。
00:05:01	続きまして、18 ページ目から 19 ページは、
00:05:04	観測位相を用いた無人化の作成、それから、
00:05:08	両方の
00:05:10	地震基盤相当面におけるも別に比較になりますか、こちらにつきましては変更はございません。
00:05:18	20 ページをお願いいたします。
00:05:22	20 ページでは、二つの方法により作成しますと。
00:05:26	僕自身はにつきまして、解放基盤表面での地震動について、
00:05:30	比較検討を行う方針を示してございます。
00:05:34	主な変更点としましては、1 の表中の②の応答スペクトルの比較検討項目の着目点につきまして、
00:05:41	前回ヒアリングでは周期ごとの振幅の大きさとしてございますとか、
00:05:45	周期ごとの応答値の大きさ、応答値の比の大きさにちょっと記載を適正化してございます。
00:05:52	また、解放基盤面の表面の地震はの比較にあたり、
00:05:57	振幅の地震は振幅の大きな区間の長さとしまして当社は水平 300 ガル以上、鉛直にはかる以上の振幅の継続時間を、
00:06:05	共振分の継続時間として評価して今回
00:06:09	着目点として比較してございますので、そちらの記載を、また、米印で明確化してございます。
00:06:17	21 ページの地下構造モデルの
00:06:21	ご説明、それから、
00:06:23	22 ページから 24 ページの LAN 水槽と観測位相を用いた模擬地震化による、
00:06:29	解放基盤表面の地震は比較結果につきましては、一部記載を適正化してする部分はございますが、大きな変更はございません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:38	25 ページをお願いいたします。
00:06:41	25 ページ目では、解放基盤表面での地震はの比較結果をまとめたものになります。
00:06:48	前回ヒアリングから解放基盤表面の地震は比較結果につきまして、
00:06:52	残水層が無知と。
00:06:56	商業のものが優位であることを明確化するように、2 ポツ目に記載するとともに、その表中にもそのことがわかるように記載を見直してございます。
00:07:08	続きまして、26 ページ目から、
00:07:12	なりますが、26 ページ目からは、基準地震動の策定になります。
00:07:17	こちら前回ヒアリングから、
00:07:20	方針をちょっと見直せる部分ございまして、前回ヒアリングでは、
00:07:25	既許可税の申請を踏まえまして、
00:07:28	今回標準音スペクトを考慮した地震動と、Ss1 から Ss5 と比較しまして、
00:07:34	Ss への取り入れを判断する方針としてございました。
00:07:39	前回ヒアリング後、改めて社内で議論をいたしまして、
00:07:43	先行他社の議論等も踏まえて、基準地震動 Ss1 との比較を行い、
00:07:48	PSA スイッチを上回る場合に基準地震動として策定する方針へ見直しでございまして。
00:07:55	なお、既許可では、震源を特定せず策定する地震動として考慮しております Ss4Ss5 につきましては、
00:08:03	Ss1 から Ss3 との比較を行って策定していったものでございまして、
00:08:08	Ss4Ss 後は、Ss1 を一部の周期対応もあることで、考慮してございまして、
00:08:14	方針変更を行ったとしても聞く風の判断への影響はございません。
00:08:20	27 ページでは、標準とスペックを考慮した地震動と、
00:08:24	基準地震動 Ss を比較した結果、
00:08:27	一部の周期体で静水町を上回るため説 6 として冊提出。
00:08:32	してございます。
00:08:34	28 ページでは、具体的に盛衰値を上回る収益等を記載してございます。
00:08:40	29 ページでは、すべての基準地震動の応答スペクトル、
00:08:44	それから 30 ページ 31 ページでは、加速度は計とされた加速度一覧を示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:51	こちらにつきまして変更はございません。
00:08:54	32 ページ目からは、超過確率の参照を示してございます。
00:09:00	33 ページは、震源を特定せず策定する地震動の応答スペクトルの年超過確率を示しております。
00:09:07	こちらにつきましては、図の方ですね、ユー・エス・エスの線を太くするなど図の見やすさの観点で修正を行う。
00:09:14	でございますが他に変更はございません。
00:09:19	34 ページ目をお願いいたします。
00:09:22	34 ページ目は、基準地震動と許可で評価しますと。
00:09:26	一応ハザードスペクトルを比較してございます。
00:09:30	こちらのページの図につきましても、見やすさの観点でユー・エス・エスの
00:09:34	清の太さを修正してございます。
00:09:38	36、35 ページ 306 ページは、
00:09:41	今までこれまでの御説明のまとめとなっております。
00:09:45	こちらにつきましては、
00:09:50	大きな変更はございません。
00:09:53	それから最後に 37 ページ目からは参考として、標準応答スペクトルをモデルの設定経緯を踏まえまして、地下項目層モデルの見直し前後での解放基盤表面の地震動の比較を行ってございます。
00:10:06	38 ページのように、地盤減衰 Q 値の見直しを行いまして、標準応答スペクトルをモデルを設定することを前回ご説明して、
00:10:15	1000 台 1142 回買う方でご説明しておりまして、その見直し前後のと地震動の 1 レベルの
00:10:22	確認を 39 ページで行ってございます。
00:10:25	こちらは、前回会合からへと変更はございません。ご説明は以上となります。
00:10:35	はい。きちんと鈴木です。はい。ご説明ありがとうございました。2 これ 2 回目のヒアリングというところで、ちょっと前回のところから少し資料の方見やすく、
00:10:46	していただいたという、そういうことでありますけれども、
00:10:51	なので、あんまりその細かい、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:55	中身というよりはちょっとこれ前は、玄海の地下構造の方で申し上げたんですけどしかし、今回のその説明で資料としてそんなに分厚い資料ではないんですけど、
00:11:07	当然これ、
00:11:08	12月2日ですかね、の会合で、これある程度模擬地震は、作成方針ですかねこれ欄水槽と観測に沿って、
00:11:18	以上それぞれ説明はしていて、今回多分その作成の結果とか、ウラン水槽の方だと電気協会の方の何か適合状況とか、
00:11:28	多分そういう部分を今回、説明するとかですね。
00:11:31	或いは乾燥機層の方も多分も議事課を作成したらこうなりましたっていうのも結果ですよ。
00:11:38	あとはその複数手法の方もこういう観点で比較をしますのところまでは、当然12月に説明があって、今回その観点で比較をした結果どうなんです。
00:11:50	ちょっとそういう点で今回の説明、何を説明するのかというのを、これ限界の方もその冒頭に少し書いてもらいましたけど、
00:12:00	地下構造の方ですね。
00:12:03	ちょっとそういうのをですね、場所としては、2ポツ2入る前なんですかね。
00:12:09	どこかスケジュールの前でもいいですし後でもいいんですけど、
00:12:12	ちょっとそれは見ていただかないと、何ていうか1からこの8ページからをですね、何か説明を聞いて議論をするのか、ちょっとそこがわからなくなってくるのと、
00:12:23	あとは当然コメント回答も、今残っている関連するものだと、3ページのNo.4ですかね。
00:12:31	これって一部分は、その継続時間の設定を含めた部分は、多分これは前回のところで、回答があって、一応今回だから、単にそのあとの結果を、だけをこう、
00:12:43	説明受けるっていうことでしょうし、S4の方は、なぜ選ん一応乱数の位相の方、西郷さん、茂木神氏ですね。
00:12:52	で、比較するときの考え方はこれ前回説明があって、今回だからそれに沿って、実際にこうやって比較をしたら、一応ランクの防災を選んだんですってそこを説明するわけですよコメント回答という意味には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:07	地震動の方は多分コメントとしては当然のこと、基準地震動の策定残ってなくてこれは今回だから始めて、もう設定された値数を河本に対して、
00:13:16	策定して生産と比較して、採用するっていうのを決めましたっていう、
00:13:21	ちょっとそういうところをですね。
00:13:24	そんなに細かいサブまでは踏み込まなくていいんですけど今回何を説明するのかっていうのは、わかるように1枚で結構ですので、入れていただきたいかなと。
00:13:35	いうことで、
00:13:37	あります。
00:13:40	その上でですね、ちょっとすいません私の伝え方が悪かったかなこの14ページですかね。
00:13:47	これ、もともとの無礼の矢印を別に消してくれという意味ではなくて、当然、グレーのもともとあった矢印、これは去年の12月に説明をしていて、
00:13:59	実際どうだったかという話なんで、もともとのグレーの矢印は残して、その隣に、
00:14:05	実際はこうだ取りましたっていうのを書いてくださいという、そういう、そのそうすると方針はグレーの矢印で、実際にどうやって当てはめていったかが青の矢印ですっていう
00:14:16	それだけの話ですよ。
00:14:24	はい。
00:14:25	あとはこれも単なる、
00:14:28	わかりやすさですけど、15ページのところもう、
00:14:33	これーこの15ページって、前のフローチャートでいうと収集条件の1と2頭、さらに観測記録の選定のステップ1、
00:14:43	もうこれ一つで説明しているので、
00:14:46	せめて収集条件12の方と、ステップ1のところは、この四つポツ並んでまして15ページ、ちょっと一応分けて、
00:14:56	入った方がもう、わざわざフローチャートでわかりやすく作ったのに、このフローチャートに対してどうやっているのかっていうのは、
00:15:03	すぐわかるようにしないとこれ表題が15ページが、何かステップ1のことだけ書いてるようにも見えるし、ちょっとこの辺は単なる、見やすさというか、ぱっと見て誤解を受けないように、それだけの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:15	話ですけども、
00:15:19	そのあとは特に適正化適正化
00:15:24	これは前回のヒアリングでも、ちょっと確認は、
00:15:30	手段ですけど 20、
00:15:32	2 ページかな。
00:15:33	17 のところだと主要最大加速度の 0.5 倍以上のっていうことで、主要動の説明してますけど、
00:15:41	22 ページのところ、今回、この
00:15:46	22 でいいのかな。
00:15:51	20 ページのところ、水平 300 から以上鉛直 20Gal 以上の
00:15:57	ものこれを
00:15:59	継続時間を今日深部の継続時間といいますと、て、その結果が 22 ページ。
00:16:07	なんですけど、本委員会でもってこの
00:16:10	変えて、かちっこう 300 とか 200 とかですね。
00:16:14	前の方だと使用度の方だと観測記録の方は、最大加速度の 0.5 倍以上と言っていたものを、これ急にその絶対値が 300250 でもなく 300
00:16:26	400 でもなく 300 というか、ちょっとここはなんてこの 300 と 200 っていうのはこれはどういう数字なのかっていうことをあえて、
00:16:35	何か分けている。
00:16:37	これなんか、この数字が少し、例えば主要動の継続時間の方とある程度整合させると。
00:16:44	何かちょっと結果が少し変わってくるのか最後の
00:16:48	方針としてどういう比較をするかまでは出ているので、何、何ていうかその結果に少し何か影響するという話なのか。
00:16:55	ちょっとここが 300 と 200 っていうところで、300 体 200 っていうのは水平の 3分の2 ぐらいなんでその引いたあんまり気にはしてないんですけど、ちょっとこの絶対値でき、
00:17:07	ている、ちょっとここがちょっと釈然としないんで、
00:17:11	もう 1 回どういうふうな形で 300200 っていう、
00:17:15	きっちり取ったのかっていうのを、
00:17:17	教えてもらっていいですか。
00:17:22	九州電力の盛でございます。こちらの 300 ガル 200 ガルのところですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:28	まず
00:17:29	当記録を選定する際の主要動につきましては、いずれも
00:17:34	記録です。大きな記録もあればちっちゃな記録もあるということで、
00:17:39	基準となる加速度、まず最大加速度が違います。その中で、相対的に大きな振幅を選ぶものを比較するために、
00:17:49	最大加速度の違うものを比較しますので、それぞれの地震について最大加速度の 0.5 倍程度の振幅、
00:17:57	が続くものを選ぶ。その結果選んだものが
00:18:02	A、
00:18:03	模擬地震はとして標準応答スペクトルに交付適合するように作られますので、その段階では、最大値に対して大きな振幅の繰り返しの観点で選ぶということで主要動の継続時間は最大加速度の 0.5 倍として選定してございます。
00:18:19	一方、20 ページの、
00:18:21	すみません最後、
00:18:23	介護基盤表面の地震はの比較におきましては、こちらは最後に、最終的な仕上がりとしての地震動、
00:18:31	を比較しますので、そちらにつきましては、最大値による相対的な比較というよりも、一定の基準振幅による地震動を多く、
00:18:43	もう継続時間が長いものという観点で、まず選定してございます。
00:18:49	いえ。
00:18:51	というのもこちら最終的には基準地震動に取り込まれますので、
00:18:56	最大値の半分になると、例えば 22 ページでいきますと、何水槽を用いた模擬地震はでは、
00:19:04	家田さん、0.5 倍というと 308Gal ぐらいになりますけど、
00:19:09	観測位相を用いた模擬地震はになりますと、285 億あるぐらい。
00:19:13	ということで、最終的な仕上がり地震動として、
00:19:16	最大加速度が違う基準で比較してしまうのは、ちょっとフェアじゃないとか施設影響の観点で、ちょっとふさわしくないのかなというところで、考え方としましては、一律の
00:19:28	加速度で 300Gal 程度 200Gal 程度ということで
00:19:32	基準を定めて選定してございます。
00:19:38	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:39	なんか、今基準とさして定めてっていうけどそれ何か一般的に決まっている絶対値というものではないんですよ。
00:19:50	ヒョウジン応答スペクトル、地震基盤から解放基盤までのものなんで、600 ぐらいという、
00:19:59	水平 600 枚という数字は、何ていうかあんまりどのサイトでもそんなに変わらないものであるんですけど、例えばこういうのがもっと 800 とか、でかいようなものだった場合にもこのなんか 300200 っていう
00:20:10	こういうものなんか絶対値として、
00:20:13	使うようなそういう考えなんですかそれとも、おおよそ細かい数字は当然ながら乱数と観測では違いますけど、何かそれぞれに対して、
00:20:23	おおよその使用度のところで言っている、最大加速度の大体おおよそ 0.5。
00:20:31	ていうのと、何か根っこは、一緒に、ただここは
00:20:36	観測欄水槽のほうが 617 で、半分にすると 300、
00:20:42	567 ぐらいで、
00:20:46	観測人の方は 300200 の継続時間で、それがいいのかっていう観点で、ここは一律にしているけれども、ただ考え方は、
00:20:56	大体最大のものの半分を一応それぞれの最大加速度を見た上でですけど、
00:21:02	その反対半分になるように 0.5。
00:21:06	0.5 倍とったような形で、絶対としておきまして、何かという考えが、
00:21:11	ちょっとそこら辺が、
00:21:14	あんまり見えてこなかったですね
00:21:17	何とか言わんとしてることはわかりましたけど、その
00:21:22	絶対じゃなくてそれぞれで倍率掛けてしまうと、仮に最大加速度がちょっと小さいのものでも、そっちの方は長く見えてしまう。
00:21:31	うん。
00:21:32	担当してることは、
00:21:38	はい。
00:21:40	ちょっと超過確率とかその辺の話は少し本気にして、
00:21:46	基準地震動の策定本筋のところまでですね。
00:21:50	そうすると、最後の規格が 25 ページで、
00:21:58	うん。
00:21:59	マッシュ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:00	0102 の観点で、
00:22:03	最大加速度の大きさ、共振部の長さ、
00:22:08	そうですねこれは最大加速度が大きくても場合によっては共振部永沢変わるかもしれないんでこれはそれぞれ見て、両方とも乱数の位相の方が大きかった、長い、大きい。
00:22:19	で、
00:22:21	周期体ごとの応答値の大きさ、周期ごとの応答 7 の日の大きさと、
00:22:27	何か違うようなことを書いてありつつ、中武。
00:22:31	買って同じになる。
00:22:33	ような、
00:22:35	気もするんですけど、中木元の大河内の大きさが、
00:22:41	一緒なら、周期ごとの応答値の比の大きさも、
00:22:45	それは同じですよねということで、これは二つに分けてそれぞれでちゃんと図では比較してますけど、多分意味としては、
00:22:53	何かこの何ましようはいって言い方変なんですけど、多分変わることは多分ないんですよ、概念的には。
00:23:04	そうすると、結局、②の方は違いがなくて①の方が、両方とも開大加速度の大きさの更新の継続時間の長さも、
00:23:14	どちらも観測位相の方に U 水槽を用いる方が適切だと。
00:23:20	全体で見て断水層を選びました。
00:23:24	うん。
00:23:25	ここまでは、すみません考えは、
00:23:28	ありました。
00:23:30	最後が 27 ページからの Ss の策定ということで、
00:23:37	スペクトル当然変わらないんですけど比較はこれ応答スペクトル同士特定しての応答スペクトル SE さんとの比較で、これで選べますと、特に、別にそこで止めてる時点で、
00:23:49	基準地震動を作成するわけですから、
00:23:52	この比較だけやりますと、
00:23:55	はい。
00:23:56	わかりました。次が、
00:24:03	そこだけですかね書いたところは、
00:24:07	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:09	ちょっと欲しい正常というか、何とかテンロクの記載の適正化城南なんていうか、特定せずの方で今回申請してきているので、
00:24:20	何か Ss4Ss この、
00:24:22	策定のところの字づらを、何か適正化かけるのかどうかちゅうのはそれちょっと
00:24:27	補正申請の時どうするかって話なんで、あんまりその会合で議論する内容ではないかなと思ってる。
00:24:34	はい。
00:24:36	どこまで、
00:24:37	ちょっとこの基準地震動の策定までのところですかね。
00:24:41	ここですみませんらしい。担当の方で今一旦一通り、
00:24:46	国なり、
00:24:47	ちょっと資料をわかりやすくというか、
00:24:49	申し上げましたけど、何かある方おられますでしょうか。
00:25:00	よろしいですか。
00:25:01	超過確率の方見ますかね。
00:25:04	一応ハザードカーブの方は、
00:25:07	間宮副ということで、結論のその基準地震動の年超過確率がどのぐらい程度。ここは変わりませんと。
00:25:16	ということなんですけど、これも前回、
00:25:21	かなと。もともと、
00:25:27	ちょっと地下構造のところでは少し最新の地震観測地震記録とか、ちょっとそういうものも使いつつふう。
00:25:34	ただ、ハザードカーブのところは、それ以外にも何かし、知見なり何なりをどこまで、
00:25:41	ここに反映するのかっていうところで今のところ、木岡千野。
00:25:46	ハザードカーブとの比較をしてるってということなんですけど。
00:25:50	ただ、
00:25:51	FSAR とかでは、これで、
00:25:55	あれフェアって何回ぐらい出されたんですけど、もう何回か出している。
00:26:05	九州の友利です。衛藤玄海の方は FSAR は 2 回くらい届け出を出してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:12	ちょっと許可の申請書上のこの行動を変えるかっていうところはあるつつ、多分ハザードカーブみたいなものは、
00:26:20	何ですかね、一応、
00:26:24	多分、FSAR とかでも、情報アップデートしていているんだと思うので、
00:26:30	その最新のものなのかその、今後この再編のものにしようとして、そこにはだから、熊本地震で入ってるんですけど。
00:26:40	九州電力の盛でございますと、FSAR は今、1 回、現状、玄海 3 項につきましては 2 回届け出を行っており、おりました、
00:26:48	1 回目は、まず
00:26:51	先ほどの土岐梶野、衛藤。
00:26:54	UHS が記載されてございます。2 回目はそのあと知見の変更がないということで、
00:27:03	特にハザードとかですねそういうものについては届け出を行ってございません。実情は、
00:27:08	そのようになっております。
00:27:12	なるほど、じゃあとりあえずそっちで何か新しい新知見取り入れてハザードカーブ
00:27:19	しているわけではないわけですね。
00:27:22	うん。
00:27:26	なのでちょっとどちらを整理するかという意味で今御社なんですかね。
00:27:31	許可のところのものを、
00:27:33	そのまま性というか、そこと比較しているわけですけど、
00:27:38	ここって何か最新のものに少し変えて 3 号でこういうものと比較しても当然ハザードカーブの変わってなくて結果も変わりませんというのは、
00:27:47	それは何か出すことっちゃうのは、すぐ可能なんですかね。それともちょっと時間がかかる話なのか。
00:28:05	九州電力の盛でございます。ハザードカーブ等ですね計算は、少し時間をデータの更新する準備にですね、時間がかかるものですぐにというところとなかなかすぐに出せる。
00:28:18	ものではないのかなとすいませんちょっと感触ではありますけど、そのように考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:23	わかりました。ちょっと FSAR の方でね、何か使ってるなら、その最新のものと或いは許認可の書類ではないんですけど、そういうものとの比較が可能ならと思って。
00:28:33	わかりました。ただ一応
00:28:36	松木水上っていうか、武者の中では、当然 FSR の方でね再更新するものがないと言っている以上は、それは多分ハザードカーブが大きく、ほとんど変わらないっていう前提でそう言ってるんでしょうから。
00:28:49	わかりました状況としてわかりました。
00:28:51	はい。
00:28:57	あと最後の参考これはだから変えてないわけですよこれ前回ヒアリングの通りですねはい。
00:29:04	ちょっとこの模擬地震はの策定基準地震動の策定のところは、これは去年の 12 月に、ある程度のコメント No. 4 とかの一部だったり、
00:29:15	コメント No. S4 の園田と比較する。
00:29:21	観点方針みたいところまでは、説明があるので、今回の会合で何を説明するのかという、その概要をつけつつ、あとはいくつか資料の方わかりやすく、
00:29:32	いうことで申しておきたいと思います。
00:29:36	超過確率とかも含めて、
00:29:39	何かある方。
00:29:41	おられますでしょうか。
00:29:46	規制庁の名倉です。1 点だけちょっと
00:29:51	お願いがあって、
00:29:53	例えば 11 ページとか 12 ページで、
00:29:57	応答スペクトル比の
00:30:00	最小値が、一応記載はしてあるんですけど、
00:30:05	上の表を見ればどこどこまでしか大体はわかるんですが、
00:30:10	例えば 11 ページとか 0.90 がどの周期で、
00:30:15	発生してるのかっていうのが、
00:30:18	ぱっと見よくみないとわかんないので 0 でも振っていただけますかね。
00:30:23	最低値が出てるところ。
00:30:25	これ一応他のサイトでも可能な限り依頼をしているので、このところはちょっと対応の方よろしく申し上げます以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:36	森です。承知いたしました。土岐さん、図の方をちょっと修正を図りたいと思います。
00:30:54	はい。
00:30:55	他、よろしいですか。ちょっとまた何かあれば地下構造の後に、今回全体で、
00:31:01	確認しますんで、
00:31:03	はい。それではですね一旦この重み自身は、基準地震動の方の資料は一旦、これとして、
00:31:12	ではですね地下構造ですかね、こちらの方の説明をお願いします TT3030 ですね。はい。こちら説明をお願いします。
00:31:23	はい。九州電力の本村でございます。続きまして TPGA030 を用いまして、玄海原子力発電所の地下構造モデルの設定についてご説明させていただきます。
00:31:34	まず、コメントリストからになります。5 ページのところを開いていただきまして、No.14、No.15、それと 6 ページの方、開いていただきまして、S-2 というコメントですね。
00:31:49	こちらについて、本資料でご説明させていただきます。5 ページに戻っていただきまして、下の方に、No.14 と No.15 のですね、
00:32:00	コメント概要を示しております。まず No.14、上下動の一部周期体における観測記録との不整合の要因、及び地下構造モデルへの反映要否についての考え方等を資料に反映することと、
00:32:14	いうコメントに対しまして、応答スペクトルの比較において、スペクトル形状、凹凸のわずかな差異により、党派が局所的に観測記録を下回るが、
00:32:27	PS 検層モデルと設定した地下構造モデルの伝達関数、解放基盤表面と EL-200 メーターの比の比較結果によると、
00:32:38	上下動の一部周期 0.2 秒から 0.4 秒において、保守性を有する地下構造モデルあることから、地下構造モデルの妥当性に、
00:32:48	影響はないと判断してございます。具体的にはですね、汎用費の結論につきましては、本編のすみません 88 ページに記載してございます。
00:33:04	前回のヒアリングからの変更点としまして下の図に、
00:33:10	コントラストをなくした場合の地下構造モデルの伝達関数を、一点鎖線で追加しております。
00:33:18	設定した地下構造モデルのコントラストがない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:22	場合でも、旧人湾から旧人Ⅲの伝達関数を上回っておりますが、設定した地下構造モデルはもともとコントラストがございますのでさらに保守性を有する結果となっております。
00:33:36	これを踏まえて設定した地下構造モデルの伝達関数は、PS 検層モデルの
00:33:43	伝達関数を上回ることを確認しております。結論としましては、最後の行で、通貨構造モデルの妥当性に影響はないというふうに判断してございます。
00:33:55	それとですね観測事実との整合性にかかる検討に関する補足を、
00:34:01	127 ページ、ちょっと後ろの方になりますけども、
00:34:08	127 ページからの補足の④に載せてございます。
00:34:14	前回からも、前回のヒアリングからの修正については、本編 88 ページと同様ですが、132 ページ、
00:34:23	の図ですね、右下の方になりますけどもこちらに速度コントラストをなくした場合の全立関数を一点鎖線で追加しております。
00:34:33	続いてすみません 5 ページにまた戻っていただきまして、今度はナンバー15 になります。
00:34:41	Q=12.5 に、Q=16.7 に設定した標準応答スペクトルをモデルと、観測事実との比較結果について資料に追加することということで、
00:34:54	コメント回答概要として、二つポツを記載しております。
00:34:59	まず一つ目のポツで、標準応答スペクトル用モデルの妥当性確認のための標準応答スペクトルをモデルと、PS 検層モデルの理論伝達関数の比較結果、
00:35:11	二つ目のポツで地震観測記録を用いた、地盤減衰の見直しの影響検討のための設定した地下構造モデル等、標準応答スペクトルをモデルの最大加速度等の比較結果をそれぞれ記載のページに示してございます。
00:35:28	前回のヒアリングからの、
00:35:31	変更点としては、またちょっと後ろの方になりますけども、134 ページ、お願いします。
00:35:39	この 134 ページの一番下のバーですね。
00:35:44	バーで理論伝達関数についても比較する旨、追加しております。その比較結果につきましては、ちょっと後ろに行きまして 136 ページ。
00:35:56	2、図を追加してございます。この赤線で 12、92.5 のモデル、青線で標準応答スペクトルをモデルの伝達関数を示しておりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:10	地盤減衰を $Q=16.7$ に見直すことによって伝達関数が増大することを確認しております。
00:36:18	コメント回答に関連するところは以上ですけれども、資料の論理混成に関するところも、修正しておりますので、そのご説明をさせていただきます。
00:36:29	まず 15 ページをお願いいたします。
00:36:36	地下構造モデルのこのページではですね地下構造モデルの設定の大きな流れを記載しております。清川の地下構造モデルとは別のモデルとして評定等スペクトルをモデルを設定する。
00:36:50	目的に応じて使い分ける。二つのモデルを設定するという点につきましては前回ヒアリングからも、書いてございません。
00:36:58	標準応答スペクトル用モデルの設定の方法、仕方については、一部変更しております、前回のヒアリングでは、まっさらな状態から設定すると。
00:37:11	というようなスタンスで、速度構造、密度、それと EL-200 メーター以深の地盤減衰について、許可の地下構造モデルと同様の設定根拠で、0 から設定する。
00:37:26	スタンスの資料を記載しておりました。
00:37:30	今回は、速度構造密度 EL-200 メーターの地盤減衰は、
00:37:37	既許可モデルから流用すると。
00:37:40	というようなスタンスで、資料構成を見直してございます。
00:37:45	また、前回の資料では、EL-200 メーター以前の地下構造モデルの妥当性については、観測事実を基に確認をしておりましたが、
00:37:56	EL-200 メーター以深を含めた地震基盤相当面からの地下構造モデルの全体の妥当性のところが、歯抜け状態になっておりました。
00:38:07	ので今回ですね、前段のところでは EL-200 メーター以深のモデルの設定根拠となっている、地震調査委員会、2007、
00:38:18	については、ハイブリッド合成法に適用されておりますので、
00:38:23	正しい北井限定という知見ではございませんで、長周期体にも適用できることというのを確認し、
00:38:31	また、最新の知見、
00:38:34	であります、Jシスの地下構造モデルとも整合することを確認し、その上でですね、後の方の後段になりますけれども、許可以降の観測事実を踏まえて設定した EL-200 メーター以前の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:51	地盤減衰を含む EL-200 メーター以前の地下構造モデルの妥当性確認を実施すると。
00:38:59	というような論理構成にさせていただきます。
00:39:03	具体的な設定の流れとしましては、引き続き 15 ページになりますが、
00:39:09	①のところで影響下の地下構造モデルの設定について、詳細な設定根拠としましては、参考⑩に飛びますけどもそちらの方に、
00:39:21	根拠を記載させていただきます。
00:39:23	②で、既往開校観測記録が増えて、③で、これらの観測記録を踏まえた通貨構造モデルの分析を実施し、
00:39:33	速度構造は評価モデルと同等、地盤減衰の Q 値については、評価モデルを大きく下回ることを確認した上で、④の標準応答スペクトル用モデルの設定と、
00:39:47	いう流れにさせていただきます。
00:39:50	この④の標準応答スペクトルをモデルの設定の流れをもう少し区分け詳しくしたのか。
00:39:59	22 ページになります。
00:40:04	一つ目のポツでは、強化以降の観測記録による分析から Q 値については、精度信頼性の向上が見込まれるため、観測事実等に基づき設定。
00:40:14	二つ目三つ目のポツで、EL-200 メーター以深の地盤減衰、それと速度構造密度については基本モデルを流用。
00:40:25	最後のポツ、なお書きになりますけども、EL-200 メーター以深の評価モデルの流用している範囲については、地震調査委員会 2007 を設定根拠としてますが、
00:40:39	地震調査委員会 2007 の地下構造モデルは、詳細法、ハイブリッド合成法による影響水道計算を目的として、
00:40:49	設定されておりまして、短周期から長周期までのすべての周期体へ適用されていることを確認させていただきます。
00:40:58	で、25 ページのところで地盤減衰の設定と地下構造モデルの妥当性確認の流れを示しておりますが、
00:41:07	左下のところ、左下の地下構造モデルのところで、
00:41:12	速度構造密度 EL-200 メーター以深の地盤減衰は、許可モデルを流用することを追記してございまして、右側のところで、L-2 百名体制について妥当性を確認することを記載しております。
00:41:27	なお、EL-200 メーター以深の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:31	妥当性について繰り返しになりますが、前の 22 ページ等でお示しました通り、EL-200 メーター以深の範囲は許可の地下構造モデルを利用しておりまして、
00:41:44	この範囲が短周期から長周期までのすべての収益を適用できることを確認しております。
00:41:51	これ以降ですね、論理構成に関する変更点としましては、大分飛びますけども、94 ページのまとめのところになります。
00:42:07	二つ目の四角の一つ目と二つ目のポツで、EL-200 メーター以深以浅について Q 値の検討確認を実施し、
00:42:18	Q=12.5 と設定したことを記載。
00:42:21	それと三つ目のポツで速度構造密度 EL-200 メーター以深の地盤減衰は、清川瓜生様、そして四つ目のポツで、EL-200 メーター以深の地下構造モデルについて、
00:42:35	短周期から長周期までのすべての周期体への適用性を確認したことを記載しております。
00:42:42	最後に、今後の取り組みということで 96 ページにまとめております。
00:42:49	今後、さらなる信頼性向上を図ることを目的に、最新の技術的知見の収集分析評価を実施することで継続になりますけども広域の地震観測。
00:43:01	敷地内地下構造の把握ということで継続になりますが、
00:43:05	敷地内の鉛直アレイ地震観測、それと、今回減衰測定に用いたボーリング孔における EL-200 メーターでの地震計増設、
00:43:16	それと大深度ボーリング A 及び地下深部の地震観測の実施についても、検討することとしてございます。本編資料については、以上ですけども、
00:43:29	6 ページの
00:43:32	コメントリスト。
00:43:34	に戻っていただきまして、
00:43:38	ここのですね S-2 の許可の地震動への影響に関するコメントにつきましては、また後の方になりますけども、148 ページ。
00:43:51	からの補足の⑥になります。前回のヒアリング資料では、理論計算や統計的グリーン関数法の結果を示すだけになっておりましたので、経緯というか、そもそもの許可の実施基準地震動について説明を追加しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:08	ただ、新たな資料というわけでもございませんで、昨年の10月、それと12月の審査会合でお示ししているものを追加しております。
00:44:18	追加、今回追加させていただいた149ページから、153ページ。
00:44:25	既許可の基準地震動を踏まえまして154ページになります。
00:44:31	一つ目のポツで既許可の地下構造。
00:44:37	既許可の基準地震動におきまして既許可の地下構造モデルを直接使用していないことを記載しております、二つ目のポツで許可の断層モデルの地震動評価のうち、経験的グリーン関数法と理論的相のハイブリッド合成法における理論的手法。
00:44:55	それと、経験的グリーン関数法の妥当性確認における統計的グリーン関数法では、教科の地下構造モデルを用いていますので、
00:45:06	これらについて標準応答スペクトルをモデルが既許可の地震動評価に与える影響について確認することを記載しております。
00:45:14	また、②のタイトルですけれども、前回のヒアリング資料では統計的グリーン関数法の地震動評価への影響と、記載しておりましたが、先ほど申しました通り、既許可の経験的グリーン関数法の妥当性を確認することが目的ですので、経験的グリーン関数法の地震動評価への影響と、
00:45:34	いうふうに修正をさせていただきます。
00:45:37	155ページ以降の確認結果については、変更ございません。
00:45:43	地下構造、玄海の地下構造モデルについてのご説明は以上でございます。
00:45:53	はい。説明ありがとうございます。
00:45:56	それでは、
00:45:57	確認をしてきたいと思います。
00:46:01	阿藤。
00:46:02	これちょっと冒頭だったんで入っておきますけど、
00:46:07	先千田千田谷中ってすみません、地震動の方でも言ったんですけど、ちょっと今5ページのところの何か空きスペースを使って、今回のそのコメント回答方針っていうのもここ、ちょろっと書いているんですけど、
00:46:20	もっとこれはその後ろのですね6ページの今回S2も、コメント回答なわけですよ。
00:46:29	Ss-F2、
00:46:31	強化基準地震の影響について説明することっていうのも、これだから今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:36	コメント回答これ仙台へのコメント範囲でやってますけどこれ、前回は共通コメントとして対応するんですよという話はもうしてあるので、
00:46:44	なので、都合コメント回答としては3件になるわけですね。
00:46:49	ちょっとまずそれわーんこれもどこに書くかちゅう話なんですけど、こういう何か空きスペースにちょろちょろちょろっと書くのではなくて、A案と、1枚で書くのは1枚に収まるなら1枚。
00:47:00	で結構ですけど。
00:47:02	ちょっとそれは今回のコメント回答この部分です。
00:47:06	ていうものとか、あとはちょっとこの後ですかね少し論理構成というか、
00:47:12	ちょっと設定の部分のところで、少しわかりにくかった業界を見てるんだと思うので、確認してきますけど、ちょっと今回どういう説明をするのかっていう
00:47:21	1から10までこの中身を説明していくわけではないと思いますので、
00:47:25	それははいなる説明入る前のところにポツに入る前のところで、
00:47:30	わかりやすくしていただきたいかなというのが、まず冒頭に申し上げておきます。
00:47:36	その上で今回全体の論理構成というか、
00:47:42	もともとどういう考えで、地下構造モデルの
00:47:49	設定をしてたのかって15ページのところが一番ですかね。
00:47:53	ここを少し行間見えるような形で、と書かれていて、
00:47:58	①は基本変わらずで、許可の時地下構造モデル、参考10と、
00:48:05	ということで、一番下にこれだから前回のヒアリングでできた許可の時にもこの鉛直アレイとか微動アレイ観測で確認をしてみましたっていう許可の時の話を、
00:48:16	ここはただのファクトですね。
00:48:19	2個目もう、これもう、ただの事実といえば事実でこういう観測記録が増加しています。以上ですね。
00:48:26	3、3のところ③のところ、段階で、新しい記録も取れましたし、それを基に速度構造、
00:48:35	Q値として速度構造は、
00:48:39	変わらないと言ってるのもこれは、
00:48:42	ちょっと前田。
00:48:45	速度構造の同定結果が20、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:48	ページかな。
00:48:50	3、
00:48:51	2.1. 2 項ですから 20 ページの、
00:48:55	古藤。
00:48:58	と言って、
00:49:00	これから -120 メートルまでの話ですよ。
00:49:03	あと Q 値の方は聞く所もあるっていうこれも同じ 3.1. 2 項の話、
00:49:08	で、
00:49:09	じゃあ、モデルとしてどうしますかっていうと、今いきなり
00:49:14	速度構造密度は許可のものを利用していきますと、こう順々によって今見ていくと、まず、
00:49:21	許可のものを流用するんです使えるかどうかは別にして、
00:49:25	次に、旧知の方は先ほどの事前の検討ですよ。許可の方だと少し窮地大きすぎたんじゃないのかとって、
00:49:36	二つ目の、
00:49:37	一つがあるとこれが地震観測記録と、
00:49:42	いう話で次が、
00:49:46	200 メートルよりも深いところの Q 値をまずはとりあえず許可の近くを通りよう、
00:49:53	していきます。
00:49:55	この段階では、だからとりあえず許可の物売りをしたんであって、何かこう、これが、
00:50:02	いわゆる短周期も含めて、標準応答スペクトルの地震動評価に使えるかどうかは、
00:50:08	全くの不明って言い方をちょっとそこまでのものではないんでしょうけど、とりあえずここ借りてきただけですと、
00:50:13	とするとさ、そのあとに、何かなおおまけで適用性を確認ちゅうのは、いや、実際こういう論理で御社が、この事実が読んで言った通りなのかどうか知りませんが、
00:50:24	ちょっとそれははすぐにおかしくないですかと。
00:50:27	いや
00:50:29	運動誘導段階ではまず借りてきて、そのあとで適用していくにしているのか、何か丸さんとかの段階で、何か検討されていて、許可のモデルからどこを維持、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:42	いじれば、
00:50:44	どこを変えて1階に行けば、
00:50:46	短周期も含めて地震動評価として御社使えるのかって、何か先に決めてから④に入っているのか。
00:50:52	ちょっとそこら辺前後がよくわからなくてですね、今この文字づら通り読んでいくと、まず借りてきます。Q値は再度これは設定しますと。
00:51:01	行われ読んでいくと、最後、おまけで何か使えますっていうのは、これは何でなおじゃないと思うんですけど。
00:51:09	ちょっとそこをですね、もう1回、
00:51:13	今回教官埋めてきたって話なんで、ちょっとそこをもう1回ですね考える聞かせてもらっていいですか。
00:51:24	はい九州電力の本村です。まずですね、評価モデルが長周期用のモデルがあったというところからスタートしておりまして、そのあと実施、先ほどありました地震観測の、
00:51:38	記録が取れて、そういうところになりますけども、そこで同定やった結果速度は変わらなかった、木内は大きく下回ると。
00:51:48	ということなのでまずQ値については、
00:51:52	協会の観測事実を使って
00:51:56	新たに設定というところですね、速度構造については、
00:52:01	真木評価モデルのというところで、さらにEL-200メートル以深の速度構造、それとQ値についてはそのままやると。
00:52:15	いうところなんですけども、
00:52:17	ちょっとなお書きのところ、地震本部、地震調査委員会の話がありましたけども、真子評価の時はもともとそういう知見があったので地震調査委員会2007を、
00:52:32	使ってたと。ただ、2007の知見というのはもともと
00:52:38	長周期限定というわけではなくて短周期から長周期と、というようなところは、もともとあったというところで、今回、
00:52:49	そういうところの地下構造モデル、EL-200メートルについては後段で一番減衰もそうですけど、全体の200メートル以浅の地下構造モデルの妥当性を、観測事実に基づいてやって、
00:53:02	てると。
00:53:03	いうのがありまして、
00:53:05	EL-200メートル以深の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:53:10	標準応答スペクトルの評価では必要ですのでそのところが、もともと地震調査委員会 2007 で前提してたわけですけども、
00:53:19	それは、それを用いて長周期は、当時設定しよ。短周期はどうかという確認を今回、
00:53:28	の地震調査委員会は、ハイブリッド合成法で使われてるので短周期まで使えるというところを確認したと。
00:53:36	さらに、
00:53:38	2007 の知見ですので最新の知見である J シスでも、
00:53:44	この
00:53:46	繭 - 200 メーター以浅の観測事実に基づいて、妥当性を確認できてるけども、地震の方は、
00:53:54	文献で設定しているというところもあるので、最新の文献といいますか、JCS のデータを使って確認したと。
00:54:01	いうところで、がちょっと
00:54:06	正直にちょっと我々考えているところではあるんですけどもちょっと答えになってないんで、ちょっとすいません。
00:54:13	うん。
00:54:14	小澤住谷規制庁のラベルです。
00:54:19	別にやってることの中で、説明を繰り返してくださいと言ってるわけじゃなくて、
00:54:27	何か資料を読んでいくとですね。
00:54:30	例えば 4 人や 9 ページのところか。
00:54:34	地下構造モデルの位置付けで、
00:54:39	今回の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデル。
00:54:45	と、それから既許可の地下構造モデルそれぞれの位置付けが、
00:54:50	やはり周期体という観点では、
00:54:54	適用範囲がちょっと違いますということは、
00:54:58	9 ページ述べていて、
00:55:00	14 ページの設定方針の冒頭にですね、必要性を述べているわけですね。
00:55:06	すべての周期体に適用できる地下構造モデルを設定することが必要であると。
00:55:13	これ一番最初にすごく重要なことを言っていて、
00:55:16	それに対してじゃあ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:19	設定の中でどういうふうにそのすべての周期体において適用できるかっていうことが、
00:55:26	要は筋が通ってないんですね。
00:55:29	説明が、多分、説明が専門的な観点からすれば、おそらくこういうことをやってることによって、ここは説明してるんだってのはわかるんですけど。
00:55:43	表面上見ていくと、なお書きであったり、
00:55:46	その説明の理由が、推本の2007年のところに依拠して、それだけに依拠してるようにも読めるし、
00:55:55	そういう意味で説明がこれだけ必要性を言っておきながら、その適用性の説明というものに対して妥当性の説明ですかね適用範囲の、
00:56:04	それについて何かこう、全体を通して説明をちゃんとしていないんじゃないか。
00:56:10	てっていうのがすいません、これを読んだときの最初の印象ですね。
00:56:14	そこのところをちょっと明確にさせていただきたいなという、ただそれだけの話です。
00:56:21	はい。九州電力の明石でございます。先ほど鈴木さんからご指摘いただいて隣で本村が話してるのを聞きながらと私もちょっと、まさに今名倉さんがおっしゃったようなところちょっと気が。
00:56:32	今更ながらですけど気が付きました。確かにここもう直で述べるべきものではなくって、既許可の地下構造モデルを持ってきてはいるんですけどもさんざんばら持ってきて問題最後に、
00:56:45	確認すべきことなんではなくって持ってきたときに、またそもそもこれともとも長周期をとして、使ってたけども短周期についても大丈夫っていうことを見た上で、
00:56:57	これ元もともちろんこの中身としては、短周期の使えるものを我々は助手企業として使ってたまでで、それはやっぱり短周期までもう捕まえ使えるものだよなっていうことを改めて認識した上で、
00:57:10	浅いところについてこうこうこういうことがブラッシュアップできるよねっていうふうに組み立てていったと言う流れですので、それをちょっと最後になおという形でちょっと、
00:57:22	ぜひ書いてるってのは確かにちょっと話の流れ上、違和感があるなど今、今更ながら思いましたので、そこはちょっと話の流れをちょっときちっと整え直したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:36	はい。
00:57:37	うん。ちょっと説明の時とか今の回答の時に本村さんが言ってたように聞いてみると、
00:57:43	なんかその別に許可の時2、200より深部ですよ、汚水2007とか、地震本部2007、
00:57:49	地震調査委員会2007か、使ってる時も別に何か町むしろ地域だけにしか使えないものとして別に当時引用してたわけではなくって、という話からすると、
00:57:59	なんかもうその話は、むしろ、前提として、今回地下構造モデル、
00:58:05	短周期まで含めて適用できる学校のモデルが必要だといったときに、何かもう初めの段階というか、④のところに、一番最後というよりももっと前の段階で何かそういうところを、
00:58:18	あった上で、
00:58:19	じゃあだから流用していきましょうとか、利用してからなのかちょっとその鶏と卵の関係なのかちょっとそこら辺がなんかは寛容で話を聞いているのと、資料順々に寄っていったるので、
00:58:30	全くすんとんと落ちてこなかったのでもっとそこもまず確認。
00:58:35	はい。
00:58:37	ですよ。
00:58:41	そうしていくとやっぱり、山でちょっとなお書きだったり、何か後に、のページに行くと、そもそもナオ書きすらも多分出てこなくなるんだと思うんすよね。まとめとかその、
00:58:52	妥当性確認した後のまとめのページとか飛んでいくと、全く記載がなかったりとか、
00:58:58	そこも何か観測記録とかPS検層モデルとの比較でいえる-200、浅いところの妥当性を確認した後に、
00:59:08	何か初めて説明があって核になるような話なのか、もっと前の段階で、いやもうそもそも深いところはこういうことで、使えるんです。今回だと、今回確認したのは、
00:59:18	200ぐらいところのその観測記録との間とかそういうことで妥当性確認したんです。
00:59:23	だから全体なんです。さらにいいな。なお、なお、言ってるのはおそらく友沢の話とかは、その上で参考で、あくまで参考としてこういうのを確認したって話。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:33	ちょっとその関係がですね。
00:59:36	今回ちょっと行間を少し埋めていただいたんですけど、その時に、あれ何かこういう話の筋の流れだったのかなっていう破損等してこなかったのので、
00:59:45	ちょっと時間がない中で直されたんだと思いますけど、ここはやっぱり十分なところなので、しっかりとしていただきたい。
00:59:53	いので初めに申し上げました。
00:59:59	なので、ちょっとすま少し今の御説明課の神野資料の、この説明書きだと、意図しているところと違うということなんであれば、今言ったような 19 ページ、15 ページとかですね。
01:00:12	多分そうすると 22 ページのここも多分書いてある順番とかが、なお、ここも多分直ではなくて、順番とかも何か違うような気がしますし、
01:00:21	いくと、多分全体になっていくと 89 ページ、89 ページも多分まとめですかね。
01:00:28	地下構造モデルの妥当性確認まとめっていうところも、
01:00:32	ここをだから今言ったように、
01:00:34	L-200 メートルまでのことを書いて、何かさらにな。
01:00:41	この辺とかですかね、9495 も全体かな。
01:00:50	ここも多分全体のまとめだと思うんでここも、
01:00:54	全体の論理が書いてあるところだと思いますんでちょっとこういうところはちゃんと
01:00:59	意図した説明にしていきたいという。すいませんそこです。
01:01:04	大上 D。
01:01:07	あとは、
01:01:09	今回、少し補足とか参考とか、全体入口整理した時に組み換えてるんですけど、
01:01:18	ちょっとそこを直していくときに、ちゃんと何か補足として説明、補足資料っていう形で、補足 0102 って整理してるものと、
01:01:27	この参考って整理しているものと、ちゃんとそれは何か御社の中で整理した上で使っていただきたいなど、特に順番がですね、何か資料を頭から読んでいくと、これ今組み替え中なのかもしれないんですけど、
01:01:41	普通は資料の初めのページから問 4 でいくと、補足の
01:01:46	補足 1 が、元のページで来て 2 が次に出てきて 3 月に出てきてって、参考もそうなんですけどね、あるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:54	今もう見ていった時点で、参考 15 ページで初めて補足とか 3、3 行が初めて引用されるのかな、これ稲井参考 10 とかってなっていて、
01:02:05	うん。
01:02:07	なんか、何ページに飛ぶ何ページの宇宙なんか迷路ゲームをやってるわけじゃないので、ちょっとこういうところは、今多分全体の紙を組み替えてる作業だと思いますので、ちゃんとその整合するよというか、
01:02:19	にさせていただきたいかなと思います。窪さんの説明とかは割と前に出てきたりもしますよねこれ補足参考とかね、ちょっとそういうところもしっかりさせていただきたい。
01:02:29	いうことで、
01:02:31	あります。
01:02:35	地下構造のところでは、
01:02:38	そうですね。
01:02:42	は、
01:02:45	今全体的なところでの話を、
01:02:49	今は、
01:02:52	ちょっと今のこの全体の論理構成とか、そういうところで、
01:02:59	何か他にある方いれば、なければちょっと少し各論というか個別の細かいところにちょっと行きたいと思いますけど。
01:03:16	よろしいですか。ちょっとページの若い方から中で、
01:03:20	もっと先ほど、例えば 10 人時でいいですかね。
01:03:28	これもともともどういうデータ設定にしていたかっていうところの区間モデル流氷っていうふうに、端的に置き換えてしまったんですけど、
01:03:38	そこワーあえて、もともと書いてあったもん記載とかですかね何を
01:03:45	許可のときに何のデータをもとに設定したのかっていうところまで、
01:03:49	何かそこまで削ってしまう人必要はないかなと思います。
01:03:54	多分これもう、10 ページもこれ EL-200 の速度密度は EL-200 の上と下で多分違いますよね。
01:04:02	まあちょっと流用って言い方がいいのかは別にして、
01:04:05	かつ、その下に何か括弧書きのポツの方がいいのかもしれないですけど、そのときには、こういう根拠でやってそれを書いてきてます。それが使えるかどうかっていうのは、今のご説明だと、
01:04:17	多分この
01:04:18	加工モデルの設定の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:21	この 10 ページに入る前に、
01:04:24	そういう確認はしているというふうなお話のような気がします。
01:04:28	あえてそこまで
01:04:30	利用してきました後だけ。
01:04:32	必要はないかなと思います。今回、どの部分を
01:04:37	説明が必要なんだのかっていう、それがわかるようにしていただくのは結構だと思うんですけど。
01:04:44	今見ると、許可のときに、
01:04:46	何をやったんだっけけど、やっぱり参考逐一参考自由に飛んで、そこから自分と頭の中です、こう組み込んでいかないとは見えない。
01:04:55	資料になっちゃうので、そこまで削る必要ないかなというちょっと細かいところです。
01:05:04	多分 10 ページと他にも出てきてるかな。
01:05:08	10 ページにてもう少し後にも出てくるのかな。
01:05:13	2 多様なページ、20、22 ページもそうか。
01:05:18	だと思いますけど、はい。
01:05:31	そこから殺菌は、
01:05:34	しばらくは、新しい、
01:05:39	ページはページずれとかの調整だけ。
01:05:43	はい。
01:05:53	この 3 ポツ、
01:05:56	参考というか 3 節なんですかね。
01:05:58	このあたりで何か。
01:06:01	ある。
01:06:03	ちょっと、
01:06:05	86。
01:06:10	ページからの PS 検層モデルとの比較のところで
01:06:16	88 か、今回この 2 回出てくるとは思いますけどこの点線のものを足しましたということで、
01:06:26	ただ、上の説明書きを見ていくと、
01:06:31	救急自身、0.2 から 0.4 秒について、次のポツで、
01:06:36	こういう局所的に下回っているけど、
01:06:41	PS 検層モデルと比較立場伝達を比較した結果当該収益において地下構造モデルが上回ることを確認したというのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:50	これは、
01:06:52	まだ黒線の話ですよ設定した地下構造モデルがなんで、
01:06:59	次に、見える一夜久野速度コントラストによって当該周期においては、
01:07:07	だから妥当性がないと判断したっていうと、このコントラストをなくした場合という線は追加してるんですけど。
01:07:13	ここの線が何を意味しているのかが、この資料の中では全く書いていなくて、しかも、この黒線実線のを設定した地下構造モデル。
01:07:26	の妥当性に影響がないと判断した、そのあとに、何かこう比較をしているのか、何なのかというのをですね、
01:07:36	一応そのコントラストを、
01:07:39	一応、同様にコントラストはないものでやってみて、こうこうだったっていう話なのか、それよりも上の説明の中で使ってるのか、ちょっとそこはですね裸で、
01:07:49	何の説明もないけど線が追加されましたっていうところはなっているので、多分2回ぐらい出てくるんですかね。
01:07:56	このページと、
01:07:58	どっかお風呂でも、もう1回できたような気がしますけど。
01:08:01	補足とか出てくるのかな。
01:08:04	ちょっとそこは、
01:08:09	補足のほうの132ページですかね。
01:08:15	一応、
01:08:17	コントラストなくした場合、
01:08:19	5両層となりそういう設定、括弧設定時について、括弧で示すっていう、確かに設定した地下構造モデルってところには書いてはあるんですけど、
01:08:30	右にも点線があるんですけど、
01:08:33	これには何、これの点線の意味は何なのか何に使ってるのかっていうところ飛んじゃってるので、
01:08:41	はい。点線を追加して、というところはきちんと反映いただいて、
01:08:56	あとはしばらく
01:09:01	94九条がさっき言ったように、ちょっと全体の入口の構成に合わせて直してくださいと。
01:09:13	あとは、今回新たに達してきたのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:19	これもどこから飛んできているのかという意味ではあるんですけど参考の1が出されたんですかね。
01:09:25	一番今多分これ、
01:09:27	順番としては、衛藤。
01:09:30	これが、これもどの断面でこのJCSを確認して影響からいじらなくていいんですという確認したのかというのは、論理のところで、
01:09:41	適切な位置に入れてもらえばいいと思うんですけど。
01:09:45	これー、
01:09:47	まあ、そう読んでくださいよということなのかもしれないけど、防災科研、
01:09:52	JCSの深部地盤と整合性を確認すると言っていて、
01:09:57	その下のポツで、矢印の下ですよ、玄海原子力発電所を囲む4地点、4地点ところだと。
01:10:04	わかんないですけどもともと地震調査委員会の方の別の資料で書いてあった。
01:10:09	そこと同じ4点なのかもしれないですけど、4地点の物性値及びVs2.1キロ/secに対応する地盤の厚さの平均値。
01:10:19	うわ。
01:10:20	と言ってるのは、これはJCSから取ってきたやつ。
01:10:24	で、
01:10:25	4地点の平均値で設定した地下構造モデルと整合してるっていうのは、
01:10:30	この図でいうと、
01:10:31	何かあれですか設定した地下構造モデルの線が何か重なってるんですかそれとも
01:10:36	過去から見て、整合したことを確認したっていうことはこの図で言っているのか、何か別のページとペラペラめくりながら、こう比較してみてくださいということであってというのがで、
01:10:48	ここだけ見ても、これ単にJCSの4地点の平均値を載せただけなんじゃないかと思うんですけど。
01:10:59	はい。九州電力の本村でございますこのページすいません。図で示してるのJSのデータだけで、後ろの方に、すいません。
01:11:08	245ページとかになりますけども、
01:11:12	こちらで当時の2007のものを示してまして、なのでちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:20	このずれ、最後のポツですね、の結論がわかるかというところではないのでちょっと記載の方をちょっと検討したいと思いますすみませんでした。
01:11:30	はい。その上で今 245 ページとおっしゃったんですけど、
01:11:34	そうすると、
01:11:36	本社が今回設定した地下構造モデルと整合してるっていうご説明なのか、もともとの地下構造モデルで参照していた地震調査委員会 2007 から、
01:11:49	何かアップデートが、
01:11:50	ないから、設定した地下構造モデル。
01:11:54	そんなにもう評価の地下構造モデルを
01:11:57	持ってきた、今設定した地下構造モデルには影響しないと言ってるのか。
01:12:01	何かそこら辺の関係も今聞いてみると、245 だと、既許可のときに借りてきたというか参照してきた。
01:12:11	地震調査委員会 2007 があります。それについて、JCS の最新のもので確認したら、何かプレート情報はありませんね変えなくていい。
01:12:21	じゃあ、許可のものをそのまま使えるんですねっていうようにも聞こえ、
01:12:27	ただ、162 ページを見ると、設定者地下構造モデルと比較して、一緒なんです。いえ。
01:12:35	何か最後の結果は一緒なのかもしれないですけど、どれと比較していつてるのかっていうのも、ちょっとそこも今のお話だと、何か少し、歯抜けかなと思いましたけどね。
01:12:46	九州電力の本村でございますすみませんちょっと記載が飛び過ぎてるところがありますけども、さっき 245 ページで言いましたけど 244 ページの右下で 40 点の平均値、こちらありまして、これと、
01:13:00	比較して、もともと参照してるデータがアップデートされたとしても、ほぼ変わらないと。
01:13:07	というようなところを確認した上でそれをもとにして
01:13:12	設定した地下構造モデルっていうのは変わらない、整合してるっていうような構成なので、ちょっとそこら辺、ちょっと飛び過ぎてますのでちょっと
01:13:22	丁寧に書きたいと思います。申し訳ありません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:25	はい。
01:13:26	ちょうど見比べてみると、
01:13:28	基本的に Q 値は、
01:13:31	どちらも 200 でずっとすとんととして 1500 メートルぐらいのところから、
01:13:38	ちょっと過ぎたところから $Q=300$ になって、 V_s が、
01:13:44	若干ベースだと、2000 メートルぐらいのところ、ちょっとだけ変わってるんですかねこれ。
01:13:50	3000。
01:13:52	微妙にですけど、まだここはほぼほぼ一緒ってこと。
01:13:56	うん。
01:13:59	細かいところまで来てる別に、全く一緒っていうわけではないけど、
01:14:03	気にするほど大きなプレートがされてないっていうそういうことなんですかね。
01:14:08	わかります。ちょっとそこもですかね。
01:14:11	おそらく今参考 10 点なってますけど、
01:14:15	これ多分参考じゃって、もっと前に使ってるんだと思うので、はい。資料としてはですね。
01:14:21	多分参考 10 の説明が先にあった上で、それを読んだ上でこの参考 1 を読むっていう、資料上は多分そういう説明の流れなんだと思うんですけど。はい。
01:14:33	わかりました。ちょっと参考 1 の方は夜間て手抜きかなと思いますので、
01:14:43	新しくっていうところはあまりないの
01:14:48	じゃあ、次、一応私の方からもご確認しておきたかった。
01:14:53	既許可の地震動評価への影響確認、これは、
01:14:57	参考ではなく、補足 6 ですかね。
01:15:04	こちらは、前の去年の 10、10 月かな。
01:15:12	その時に説明していたところをもう 1 回持ってきてそれに沿って説明 SIMMER すということでそこは、
01:15:21	わかりましたと。
01:15:23	で、それをそのまま借りてきたページは良いとして修正が入ったら 150。
01:15:30	4 ページからですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:35	この①と②の影響確認二つの影響を確認の②の方は実態の中身に合わせて、表題を経験的グリーン関数法の
01:15:50	地震動評価への影響と変えましたと。
01:15:53	で、
01:15:54	こっちの中見ていくと、一つ目の木場は、既許可のときにはこういうふうにして妥当性確認しました。
01:16:02	二つ目の方でだから、今回は、こういう比較をして両者が概ね同等であることを確認すれば、妥当性、経験的グリーン関数法の評価結果の妥当性は変わらないのでそれを確認します確認しましたっていう。
01:16:17	こういう流れになっていてですね。
01:16:19	実際に 157 とか 150、
01:16:23	8 を見ていくと、
01:16:25	許可の時にどういうふうな使われ方をしている、今回ってものが入ってますね、
01:16:33	ということで、許可のときにこう使われてたんですが 159 ページか。
01:16:38	それに対してそこに重ね合わせるような形で今回線を重ねてみて、確認しましたっていうことで、許可のときの説明と今回の説明ちゅうのが、
01:16:52	パッと見てわかるし、リンクしてるんですよ。
01:16:56	一方で①の方を見ていくと、
01:16:59	一つ目の 154 ですね一つ目のバーは、
01:17:03	清川ではこうやって設定してました。二つ目のバーもまずはなんか Ss23 は長周期体において、何々において策定しているが、ここは既許可の時の話なんですよ。
01:17:17	そのあとに、
01:17:19	今回という形で二つのモデルについて比較し両者概ね、
01:17:24	同等であることの確認を行ってるんですけど、
01:17:28	まず二つ目のバーが許可の時の話と今回、だから今回何を確認するかの話がまず分かれてしまっているというのが 1 点と、
01:17:36	もう一つ、これ、前回のヒアリング時で、少しちょっと出資しなかったのかもしれないんですけど、155 と 156 って、
01:17:44	これ既許可のときにどう使ってたかっていう話ではないですよこれ。
01:17:50	これ今回始めて、
01:17:53	見るような戦線で、
01:17:55	評価の時にこの線だけ使って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:58	経験的グリーン乾燥理論的手法の地震動評価と違って出したわけじゃなくて、
01:18:04	許可の時は多分あの作業の過程上、この 155 と 156 にある理論的手法を各校許可審査っていうものを作って、それを多分どこかで、周期で接続して経験的グリーン乾燥と理論的手法で、
01:18:19	こういうふうに、
01:18:22	うん。
01:18:24	使う。
01:18:25	Ss23 かな。
01:18:28	使ってました。その後、
01:18:31	その時の図のこの、
01:18:33	この部分を、が変わっているかを確認したいんです。それが 155 と 156 で、
01:18:39	この相撲だから言ってみれば、155 ページで、上下方向ってもうほとんど見隠れて消えてしまってますけど、
01:18:48	この消えてしまってるところは、別にどこどこでもいいって言い方変ですけど多分評価の時に、
01:18:53	経験的グリーン関数プラス理論的手法の、
01:18:58	ところでは使っていない周期体なんてことは見えなくてもいいですよ。
01:19:02	ちょっとそういうところの関係が何かいきなりこの 155 と 156 だけ見せられると、あれ許可の時も書いてある説明でとる見りゃわかるんだっていうのが、
01:19:13	ちょっとわかりにくいので、155 と 156 で何をしようとしてるのかわかるんですけど、
01:19:19	これは基本のときの使われ方との関係でどうなってるのかっていうのは、多分この 156 の後なんですかね。
01:19:28	そういうところに、こういう使い方をしていてその部分の使い方をしている、この周期のこの部分の確認をするんです。それが 150556 ですよ。
01:19:38	そういう流れだと思うので、
01:19:39	ここはわかりやすくしていただきたいかなと。
01:19:44	もともとある使われ方の話なんで、図というか、
01:19:48	持ってくるだけだと思いますけどね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:51	ちょっと今、うまく伝わりましたかね。いや、ちょっとこの間の橋田家、さっき訴え方があまりよくなかった。
01:20:00	九州電力の本村でございます前回のヒアリングでもちょっとあったと思うんですけど、今、
01:20:06	ちゃんと理解しましたっていう変ですけどはい、承知いたしましたちょっとわかりやすくですねいきなりちょっとこの理論計算の結果だけが出てきてますので、ちょっと聞き方も簡便ですね。
01:20:16	ちょっとそこら辺、丁寧に説明したいと思います。
01:20:23	はい。
01:20:24	ではちょっと一応今回、統合した部分と、あとはこれ、評価の地震動評価への影響確認っていうのはこれは、そうですね地下構造の方に、
01:20:35	入れるんですかその心は。
01:20:39	あれですかスケジュールとかで見ると一応地下構造モデルの位置付けのところの、
01:20:45	説明の中に、新たな地下構造モデルに地震動への影響確認って書いてあるからということ。
01:20:52	割と地下構造って前回のところで、コメント No. 1045 以外、
01:20:58	アップデート以外は何となくこう説明が進んでいたという形で、前回の会合があったので、
01:21:05	地震動評価の方に入れてもよかったのかなとは思ったんですけど、そこは御社の判断かもしれない。九州電力の本村です。今回、このコメントの、
01:21:15	経緯としては、地下構造モデルの位置付けというところであったので、スケジュールのところにも、そういう地下構造モデルの括りで、ちょっと書かせてもらってたところもありますので、
01:21:27	ちょっとそういうところもありまして、今回、地下構造モデルをまとめ資料の中にちょっと入れさせていただいたというのがちょっと、我々の考えというか、経緯でございます。
01:21:41	はい。
01:21:42	なんで、そうすると先ほど冒頭でも言いましたようにこの今回の地下構造モデルの設定についてっていうところ、資料の冒頭ですね、
01:21:52	前回のニコンの方にこのコメントと、今回、コメント回答としてところのコメント回答概要というか、そんな冒頭につけていただくということをお願いしますはい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:04	すいません委員会、一旦バラバラと私の方から、
01:22:10	ましたけれども、
01:22:13	この点でも構いませんけれども、他の方確認する点。
01:22:18	お願いします。
01:22:21	しゃべる。
01:23:10	谷です。
01:23:12	多分僕鈴木さんの確認と、かなりダブってしまうと思うんですけど、
01:23:18	94 ページと 95 ページ 2 最終的なまとめっていうことが、
01:23:24	あって、前回のヒアリングで確認した中で、深いところの妥当性って、
01:23:31	どう、どう記載されるんですかねっていうのが、
01:23:35	あったと思うんですけどそこが記載されてるっていうのはこの 9495 で いうと、
01:23:41	95、94 の設定のところ、
01:23:45	まあまあこれ妥当なんだって言ってるっていう、そのそういう整理にな ってるんですかね。
01:23:52	はい九州電力の本村でございます。に、全体の話としては、200 メータ ーの以深のところ、歯抜け状態になってたと思いますので、そういう ところで、
01:24:05	94 ページですかね、の最後の方に、
01:24:10	200 メーター以深に、
01:24:12	この範囲における、適用性ですね、ここのところを確認したというところ で書いております。
01:24:25	はい。
01:24:26	はい。いや、これ設定のところ、こういうのが適切なんじゃないの かっていうような書き方をしてるんだけど、結局設定したモデルとしては、
01:24:37	妥当なんですかっていう質問に答えるとしたら、
01:24:42	妥当性を確認してるわけじゃないんだけど作ったときに妥当なものを使 ってるからっていうそういう
01:24:49	考えで作ってる。
01:24:51	よく説明してるってことですか。はい。九州電力の本村でございます。 今日の資料ではですね当時の設定として、地震調査委員会っていうの を使ってたというところで、先ほど申しました通り、その知見につい ては、別に長周期に限った話でもございませんので、設定のところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:10	短周期まで使えるっていうところを、今回の資料では記載させていただいてると。
01:25:16	というようなところではございます。
01:25:20	はい。起こりも1で89ページになると、何かこれ。
01:25:26	あれ、これも鈴木さん聞いたんでしょうか。
01:25:29	ブロックインバージョンっていうのを見て、これ矛盾がないよっていうのを確認してて、いやこれはこれで何か全体の古藤
01:25:40	話をしている。
01:25:43	なお書きではあるし参考ではあるけれども、何か大事な記載が入ったのかなってちょっと思ったんですけども、それはこのまとめには、
01:25:52	入れるようなもんじゃないっていう判断をしている。
01:25:55	はい。九州電力の本村でございます。我々もちょっと悩んだんですけども、もともとこのブロックインバージョンの用いた妥当性確認についてはあくまで参考で妥当性に矛盾がないことというようなところ箇所じゃないこと。
01:26:12	というところを確認しているものですので、最後の最後に
01:26:17	入れるものではないのかなっていうふうにはちょっと思っ
01:26:19	で。
01:26:20	ちょっと、最後のまとめのところにはちょっと入れてないと。
01:26:24	いや、ちょっとお待ちください。
01:26:26	このブロックインバージョンについては基本的に、これまでもちょっとご議論させていただいてたところですけどもこれがないと妥当性が言えないのっていうものではないと。
01:26:37	あくまでもこれはなしで一通り
01:26:40	妥当性も含めて説明はできると、いうことでこれもう参考ということで、後ろの方に持ってったんですけどただ参考という資料をが、
01:26:52	くっついてますよって道標って言ったらおかしいですけど、それがどこかにないと、もうこの3行は何の、何のためにあるのかってのがちょっとわかんなくなっちゃうので、その充志道するべの意味でこの89ページに、
01:27:05	いやその参考に飛ばす位置付けで、このブロックインバージョンでもやってやってありますよっていうのを書いてあるというところまでです。なので、結論にはこのブロック以上インバージョン踏まえてどうのこうのというところはもう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:17	相手というかそこはもう必要ないということで書いてないという位置付けでございます。
01:27:30	はいたんです。
01:27:32	はい。状況はわかりました。なんか、ただでもこれやっぱり妥当性に矛盾はない。そういう不整合しないようなところはないとか、いうのをやっぱり九州電力としての考えとしてはRRだったら
01:27:47	何か主張したいんだったら主張しても今いいのかなと思って聞いたんですけれども。
01:27:52	はい。状況はわかりました。
01:28:04	規制庁佐口ですけども、
01:28:09	さっきから
01:28:11	いろいろと確認があるように、もう私からはもう本当に1点だけで、
01:28:15	これは前回のヒアリングでも申し上げましたし、やっぱり全体の折り構成っていうのをちゃんとわかりやすい形で、
01:28:23	資料化をしていただきたいと。
01:28:26	で、
01:28:28	やっぱりこれわかりづらいのは、
01:28:31	一番重要なので、
01:28:32	結局 94、95 で、
01:28:35	まとめなんですけど、
01:28:37	これ、
01:28:41	私個人の意見かもしれないんですけど、やっぱりわかりづらくて、内容を分かってる人だったらわかるんですけどっていうところなんですよね。
01:28:50	これ実は、9495 って、この2段階になってるんですよ。
01:28:56	言ってみれば、最初に、まず地下構造モデルはこうです。
01:29:01	で、地下構造モデルの、
01:29:03	もう妥当性は、確認しましたみたいになってるんですけど。
01:29:07	95 ページの最初のところで、
01:29:10	地下構造モデル全体が妥当なので、譲受オートスペクトル用のモデルも妥当なんです。
01:29:19	と言ってるように、少なくとも私には見えて、結局何が言いたいかというと、
01:29:26	もともとの目的って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:29	何でしたっけっていう話なんですよね。
01:29:31	いや別に敷地の地下構造モデルっていうのはこういうものです。そのうちこっからこの部分を標準応答スペクトル主に、
01:29:38	モデルとして使いますなのか。
01:29:43	地下構造は当然地下構造であるんですけど、
01:29:46	今回あくまでも標準応答スペクトル。
01:29:50	を評価するためのモデルを、
01:29:53	作成するのか。
01:29:55	ていうので、やっぱりこの最後のまとめて変わってくるんですよ。
01:30:00	当然ながら、95 ページの一番最後に、標準応答スペクトルのモデルの妥当性確認ってこれが最後の、
01:30:07	結論になるわけなんですけど、そうすると、ここで言ってるのは解放基盤表面から EL-200 メーターの範囲までであって、
01:30:15	それだと標準応答スペクトルモデルとしては足りないですよ。
01:30:20	だからそこを、
01:30:23	先ほどから結構確認とコメントありますけれども、
01:30:28	全体の論理構成含めてですね。
01:30:30	結局、最終的に、
01:30:33	何を
01:30:35	示さなきゃいけないのかっていうのをやっぱり整理して多分それ、
01:30:40	うん。先ほどのコメントで、多分おそらくもう、
01:30:45	御社ご理解していると思ってますので、その辺は、
01:30:50	やっぱりわかるような形で、内容がわかってる人にしかわからないような資料ではなくてですね。
01:30:59	誰が見てもがこういうことなんだということが、
01:31:03	わかるような形で、
01:31:05	最後はまとめていただきたいと思います。やっぱりこのまとめのところが一番重要ですので、そこは、
01:31:14	わかる形で、
01:31:16	お願いしたいと思います。
01:31:22	九州電力の本村です。今日、いろいろと議論をさせていただきまして、ちょっとそれを踏まえてこの最終的なまとめページですね、わかっている人がわかるだけじゃなくて、そういうところの配慮も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:37	してちょっとまとめていきたいと思います。ありがとうございます。ちょっとお待ちください。
01:31:43	九州電力の明石でございます。今のご指摘、ちょっと整理しながら確認をさせていただければなんですけども、実態としては、このまとめわかりにくいところありますけども沢木さんおっしゃる2段、
01:31:56	2段、構えというか、二段階でやってるのがやっぱり実態でございますして地下構造モデルを作ってって、最後の最後に12.5から16.7と。
01:32:08	ということで標準音スペクトルはこうするというやり方をしているというのが実態。いいですけどこれもシンプルにやればわかりやすいのはもうそういう2段階じゃなくて最初から、
01:32:18	標準応答スペクトルモデルとしてこう設定する、その妥当性はこう、
01:32:24	流れが一番シンプルなんですけども、これまで御説明ご議論いただいたきた過程も踏まえてそういう二段階になってますので、
01:32:33	わかりづらいところはあると思うんですけども先ほどのご指摘はそれをもう、
01:32:38	一段階のシンプルな構成にしろとまでおっしゃってるわけではなくって、今やったことがちょっとかなり二段階で長々と書かれてるのでそこはもうちょっとシンプルにスパッとわかるように、
01:32:50	というご趣旨と理解すればよろしいでしょうか。
01:32:55	はい規制庁三枝別に
01:32:57	1、1度ですぱっととか、二段階が駄目だとかそういうことを言ってるわけじゃなくって、少なくとも今回の我々が求めるもそうですし、
01:33:09	御社か、御社に求められて、要は、基準上求められているのは何かという、
01:33:16	当然、地震、
01:33:18	基盤相当面から解放基盤面における、
01:33:22	電波特性を反映するのにどうするのかということですので、それ用に、当然ながら御社は標準応答スペクトルのモデルを作成しますと。
01:33:33	ということなので、その全体がですね、きちんと最後のまとめに、
01:33:38	書かれていないとですね。
01:33:40	少なくとも今のこの最後の結論だと。
01:33:45	-200メートルより上しかなくて、足りませんよと、そういう趣旨です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:52	わかりました理解できました。九州電力の明石でございます地下構造モデルの設定というのがなかなかなかなかあって最後に、標準応答スペクトルちょっとっていう形になってるので、
01:34:03	メインはやっぱりそこですので、地下構造モデルの設定の中で検討したことも踏まえて、改めて評定とスペクトル、こうこうこうというふうに、最後どんと表せばいいのかなというふうに理解いたしました。
01:34:16	はい、ありがとうございます。
01:34:31	はい。
01:34:32	藤ではですね、10日間でウェブで参加されてる田嶋さん、何かありますか。
01:34:41	よろしいですかね。
01:34:43	大丈夫ですか。院長と有馬でちょっと、今の佐口さんの質問というか、何ですかねコメントに関連してちょっと1点だけ自分も、特に直さないとか駄目とか思ってるわけではないんですけど。
01:34:57	この、先ほどのまとめの94、95等、
01:35:02	ていうのは項目は概要の9から12と、近くのなんか、各々の見直しは対応してまとめられてると理解してるんですけど。
01:35:13	自分の方でもちょっと、
01:35:16	なんで最後をこういえる。
01:35:20	最後標準応答スペクトルように、余裕を持たせるとか、少しの情報が付加最後されるんですけど、
01:35:29	この二つに分けているもともとの、
01:35:33	理由ですとか目的みたいなものについて、
01:35:36	特に、
01:35:38	いい悪いではなく、私の方でちょっとどうしてかなというのを知りたかった。
01:35:44	ですので、てれば教えていただきたいんですけど、お願いします。
01:35:57	二段階にしてる理由です。
01:36:02	聞こえませんか。
01:36:14	なんか言ってるんですね。
01:36:18	使いませんか。
01:36:22	江藤九州電力の明石でございます。2、二段階に分けてるところ説明としてはちょっとすみませんページがぱっと出て参りませんが、一つはそもそもその余裕を持たせるというところもでございますし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:36	今期 200 地震計があるところまでと地震計より深いところで、
01:36:46	今回、
01:36:48	90 ページ、90 ページですね、に、観測記録がないというところに対して、相対的に信頼性が劣るといふところがあるので、要は、
01:36:59	地下構造モデルの設定として第一段階目ですと検討整理ご議論、ご説明ご議論してきたんですけど、最後の差がやっぱりそこ信頼性が相対的に劣るよねって、そこを踏まえて安全性を向上させようということで、
01:37:13	時系列的に言いますと、その段階において当社の方でもう漫談上乗せするというか、この二段階目で、評定とスペクトルを最終的に設定すると。
01:37:24	いうふうな判断をしたという。どちらかという、そういう時間的な時系列的な流れもあって、流れもあってですね流れがあってこういうちょっと二段階になったと。
01:37:36	いうものでございます。この辺の整理をもうのっけからできてればこういう二段階にはならなかったのかなと思いますけども、ご説明をしながらご議論をいただきながら、
01:37:48	当社の中でいろいろ考えて行った結果として、ちょっとこういう二段階になったというものでございます。以上でございます。
01:38:02	はい。状況は、はい、理解しました。あとは、それをまとめるときにじゃあどうしたらわかりやすいかという観点で、最後まとめるかどうかというのは、
01:38:15	あるかもしれないですけど、はい、わかりました。
01:38:18	特に何かこうなんていうんですかね、論理構成上はそうしないと成立しないとかいう理由ではないということはわかりましたので、はい。ありがとうございます。
01:38:43	はい。ありがとうございます。
01:38:47	はい。
01:38:50	ということでちょっと入口のところの理由はですねえ。
01:38:56	途中で説明していることとちょっと今資料書いてあることが違うので、まずそこはしっかりと直してそれを全体の本その論理構成に沿って、後ろの方も直していただく最後のまとめなり結論者、
01:39:08	やはりそれに沿って参考補足を、この順番で何をどこで使ってるのかは、
01:39:14	イキツウカンになるようにしてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:16	その上で、なので、何か新しくですね、図面プツたりという、
01:39:22	ありませんので、そこは至急直していただくと。
01:39:26	ということで、
01:39:27	なので、最後、
01:39:30	そんなに長い時間ではないかもしれないですけどお迎え最後になったの 確認という形でのヒアリングいるかもしれませんが、
01:39:38	はい。
01:39:39	後施工会。
01:39:41	します。はい。
01:39:43	いかなければ、
01:39:44	前回の方のヒアリングでは、
01:39:48	これで、
01:39:55	はい。それでは、九州電力の方から何か確認ありますか。なければ、こ こで終了にしますけど、
01:40:03	はい。それでは玄海伊井の地下構造、あと地震動ですかね、こちらのヒ アリングの方に回目を終了したいと思いますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。